

会員の皆様へ

1. 根研究会賞の決定について

1996度の根研究会学術功労賞が高橋秀幸氏の「根の水分屈性に関する研究」に決定いたしました。来年度は、できれば各賞の候補がでそうように会員の皆様からの積極的な推薦をお願い申し上げます。

2. 国際根研究学会(ISRR)シンポジウムの受入れについて

今年7月にアメリカで開催された国際根研究学会のシンポジウムに初めて参加致しました。その際、ベルソン会長から、日本における国際根研究学会シンポジウムの開催について打診されました。このシンポジウムに参加していた飯嶋盛雄評議員および小柳敦史評議員と急いで相談し、また、国際電話で山内章副会長および阿部 淳事務局代表に至急、連絡を取ったうえで、根研究会の会長として2回先に日本で受入る意思があることを表明しました。これを受けてシンポジウム最終日の総会で、3年先の第6回シンポジウムをオランダカスロバキアで、6年先の第7回シンポジウムを日本カイスラエルで開催することが内定いたしました。また、これへ向けての伏線ということでしょうが、役員の変更にあたり、森田が副会長の一人に選出されました。まだ不確定な部分を残しておりますが、6年先の2002年に日本で国際根研究学会のシンポジウムを開催する可能性が非常に高くなって参りましたので、少しずつ準備を始めていきたいと考えております。組織委員会の責任者や開催地もまだ確定しておりませんので、立候補や推薦がありましたら歓迎致します。また、皆様には今後ともよろしくご協力をお願い申し上げます。

3. 会費値上げの検討について

発足当初1000円であった会費を、「根の研究」の年4回発行を主な理由に2年目より2000円に値上げしてやって参りました。節約に努めた結果、また会員数の漸増があり、公約通り4年目が終わる時点で単年度のみならず、累計赤字もなくなることができました。しかし、現在、ボランティアで行っている発送等の事務作業を外注するための準備、国際根研究学会シンポジウム開催に向けての準備、ブックレットの発行を含む活動の拡大などのために、そろそろ会費の値上げを検討し、できれば条件を整えたうえで次期の執行部に引継ぎたいと考えております。例えば、1000円の値上げをすれば、約35-40万円の収入増となり、週1回×1人のアルバイトを雇えることになります。ご意見などございましたら、是非、お寄せ下さい。

4. 「根の研究」5周年記念特別号について

根研究会は今年末をもって満5才を迎えます。そこで「根の研究」第5巻

4号を5周年記念特別号としたいと考えております。具体的な内容の企画につきましては、該当ページをご覧ください。ご協力お願い申し上げます。

5. 研究集会・シンポジウムの開催について

10月26日に名古屋大学農学部において第6回根研究集会を開催いたしますので、ご参加下さい。今回は、研究集会前日に名古屋大学農学部で開催される別のワークショップに参加する外国人研究者を含めた方々に特別講演をお願いする予定であります。

また、来年の9月11日と12日に、東京大学山上会館において、第4回JSRRシンポジウム「イネ根系の戦略的管理（植物根系の理想型を考えるその3）」（仮タイトル）を開催する予定です。詳細は、後日、お知らせ致します。

しばらく前から、ファイトテクノロジー研究会との友好関係をどのように確立していくかを模索しております。来年あたりに共同企画をというお誘いを受けておりますので、前向きに取り組んでいきたいと考えております。

6. JSRRシンポジウムのプロシーディングについて

第2回JSRRシンポジウムのプロシーディングにあたる山内章編「植物根系の理想型」が博友社から発行になりました。山内氏を初め、関係各位にお礼申し上げますと同時に、皆様には宣伝方よろしくお願い申し上げます。

第3回JSRRシンポジウムのプロシーディングも、現在、最終著者校正をとりまとめている段階で、近く発行の予定です。

7. 「根の事典」について

「根の事典」につきましては、お陰様でかなりの最終原稿が出そろって参りました。しかし、長期の海外出張などの事情で最終原稿を頂いていない方もおり、最終編集作業が足踏み状態になっております。担当の編集委員の方々とご相談をしながら作業を進めて参りたいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

なお、「根ハンドブック」の在庫がまだ若干はございますので、宣伝方よろしくお願い申し上げます。

1996年9月 会長 森田茂紀